



目次

**1 編集方針** .....02

**2 Honda フィロソフィー** .....03

**3 概要** .....04

**4 トップメッセージ** .....08

**5 サステナビリティマネジメント**

    ビジョン .....09

    マテリアリティマトリックス .....11

    サステナビリティ推進体制 .....12

    コーポレートガバナンス .....13

    コンプライアンス .....16


    リスクマネジメント .....18


    研究開発 .....19


    イノベーションマネジメント .....20


    ステークホルダーエンゲージメント .....21


**6 パフォーマンス報告**


 環境 .....24

 安全 .....43

 品質 .....49

 人材 .....61

 社会活動 .....74

 サプライチェーン .....85

**7 GRI ガイドライン対照表** .....96

**8 第三者保証** .....104

## 編集方針

### ● 対象組織

本田技研工業株式会社および国内外 442 社の関係会社（連結子会社 367 社、持分法適用会社 75 社）により構成された Honda グループ全体を報告対象組織としています。Honda グループ全体を対象にしていない場合は、個々に対象範囲を記載しています。

### ● 対象期間

2016 年度(2016 年 4 月 1 日～2017 年 3 月 31 日)の活動を中心に、一部に過去の経緯や発行時期までに行った活動、将来の見通し・予定などについて記載しています。

### ● 準拠したガイドライン

GRI「サステナビリティ・レポーティング・ガイドライン第 4 版 (G4)」の「包括」に準拠しています。詳細につきましては GRI ガイドライン対照表のページ(⇒ P.96) をご参照ください。

※各種データの算出にあたって参考にしたガイドラインまたは算出根拠は、個々の報告箇所に記載しています。

また Honda は 2016 年にグローバルなマルチステークホルダーネットワークプログラムである「GRI GOLD Community」への参加を表明しました。本プログラムには、すでに市民セクターや企業、国連機関、政府間組織など 69 カ国、550 以上の多様な企業や組織が参加しています。Honda は積極的にネットワーキングをしていくことで、持続可能な世界の実現をめざしていきます。



### ● 第三者保証について

2016 年度の環境関連データに関しては、第三者保証を受審しています。詳細につきましては本報告書の第三者保証報告書のページ(⇒ P.104) をご参照ください。

の付されたデータにつきましては第三者保証を受審しています。

### ● 発行日

今回の発行：2017 年 6 月

次回発行予定：2018 年 6 月

サステナビリティレポートは毎年発行しています。

### ● お問い合わせ先

本田技研工業株式会社  
 経営企画統括部 サステナビリティ企画部  
 〒107-8556 東京都港区南青山 2-1-1  
 TEL.03-5412-1159 FAX.03-5412-1502

### ● 発行

本田技研工業株式会社 経営企画統括部

### ● 表紙ピクトグラムについて

Honda のサステナビリティのあり方を表現しています。

3 つの楕円：「喜びの創造」「喜びの拡大」「喜びを次世代へ」(⇒ P.10)

6 つの真円：二輪・四輪・パワープロダクツと未来への事業(⇒ P.04)

支える手：Honda の取り組みに共感していただいているステークホルダーの想い(⇒ P.21)



# 1

### 免責事項

本レポートには、本田技研工業株式会社の過去と現在の事実だけでなく、発行日時点における計画や見通し、経営方針・経営戦略に基づいた将来予測が含まれています。この将来予測は、記述した時点で入手できた情報に基づいた仮定ないし判断であり、諸条件の変化によって、将来の事業活動の結果や事象が予測とは異なったものとなる可能性があります。過去の報告書で提供した情報を修正、再記述する場合や、重要な変更がある場合は、その内容をこちらに記載します。読者の皆様には、以上をご理解いただきますようお願いいたします。